



平和の旅

平和と教育を考えるツアー連絡会

2019年4月25日発行 号外

2019春

事務局 北海道平和委員会

札幌市北区北6条西6丁目 第3山崎ビル3階
http://www.heiwatour.com

いしづみ

碑の会共同企画、札幌窪島会・北海道平和婦人会協力

ねが

「三行の希い」の碑と「平和がいいね!笑顔がいいね!」に参加する旅

—おおたか静流さんのうたと窪島誠一郎氏のお話—

2019年6月16日(日)

旅行代金 7,000円 申込締切 5月31日(金)

泊原発を見下ろす岩内の高台に建立された、水上勉・窪島誠一郎父子による「三行の希い」の碑。父子の想いに賛同し結成された「碑の会」では、碑の建立を記念し、岩内にて様々な文化行事を行っています。
今年はおおたか静流さんによるコンサートを企画。戦没画学生が残した絵の物語「あの夏のまま」を歌うおおたか静流さんは、「にほんごであそぼ」で大人気。こどもたちと一緒に歌うコーナーも。碑の近くの「おかえりなさい」で入浴・休憩ができます。

「核」を
絵筆で塗りつぶせ
ペンで書きあらためよ
水上勉
窪島誠一郎

- 旅行代金に含まれるもの バス代・昼食代・イベント参加費・入浴料
- 集合時間 午前8時50分
- 集合場所 JR札幌駅北口、鐘の広場(旅システムの旗を目印にご集合ください。)
- 最少催行人数 30名様
- 定員 40名様
- バス会社 JR北海道バスまたは同等クラス
- 申込み締切り 5月31日(金)
- 添乗員が同行いたします。
- 催行の決定は7日前までにお申込みいただいた方へご連絡します。



写真はイメージです



2015年10月
写真はイメージです

● 碑の前で
窪島誠一郎氏と
記念写真
● 帰りのバスには
窪島誠一郎氏も同乗

出発日の 21日前迄	出発日の 20~8日前迄	出発日の 7~2日前迄	出発日の 前日	出発日の 当日	出発開始 後の解約
無料	20%	30%	40%	50%	100%

お申込みの方には、旅システムから旅行条件書と申込書をお送りいたします。
詳しい旅行条件をご確認の上お申し込みください。
旅行条件は旅システムのHPでもご確認いただけます。
<http://www.tabisystem.com>



旅行企画・実施
北海道知事登録旅行業 2-260号
株式会社 旅システム
札幌市東区北12条東7丁目1番1号 ワコービル 3F
総合旅行業務取扱管理者 青木 久美子
☎ 011-742-2260 fax 011-742-2265 ✉ tabi@tabisystem.com
営業:月~金曜日(祝日除く) 9:30~17:00

おおたか静流 in いわない 平和がいいね!笑顔がいいね! コンサート

NHKのエテレ「にほんごであそぼ」でおなじみの、おおたか静流さんから岩内の子どもたちへの素敵なプレゼント!子どもたちにも舞台上がってもらい、いっしょに「平和がいいね!笑顔がいいね!」を大合唱しましょう。
後半は、おおたかさんの素晴らしい歌声をご堪能ください。また、「無言館」館主、窪島誠一郎さんのお話と朗読もお楽しみいただけます。

2019年6月16日(日) 開場 13:30 開演 14:00
荒井記念美術館ホール
岩内郡岩内町野東 505 荒井記念美術館 1F(Tel 0135-63-1111)
入場料 大人 1,000円 (小学生以下無料)
申込・問合せ 090-1528-1334(國田)まで

歌: おおたか静流 ピアノ: Asu
お話・朗読: 窪島 誠一郎

おおたか静流

シンガー&ボイスアーティスト。
表現の自由を軸に童謡から即興音楽にいたるまで幅広く、自らをノンジャンルと呼ぶ。映像、絵画、ダンス、朗読、パフォーマンス・アート等様々なジャンルとのコラボレーションを続けている。参加作品映画:「シコ・ふんじやった」、「戦後武蔵野野郎」テレビ:全米時代劇「おどりやんせ」(NHK)、「にほんごであそぼ」(NHK) テレビ:アニメーション:「螢火の社へ」、「千と千尋の神隠しイメージアルバム」ワークショップ:声のお絵描き主宰、絵本:田島征三とのコラボレーション「トベラト おもいでをたべるオマケのはなし」発行。CD:「ファイナルファンタジーIII」「にほんごであそぼ(各種)」、「Serenade」、「IKOJI」、「トベラトのおどり」実演:市京調美術館にて照明アーティスト藤本隆行と「くぐりや美術館」を発売。光と光の逢瀬を模り所に、生と死の淵に愛を打す。「無言館」の催しにも度々ゲストとして招かれている。



窪島誠一郎

1941年東京生まれ。
「無言館」館主、作家、印刷工、酒場経営などを経て64年、東京都世田谷区に小劇場の基分けとなる「キッドアイラック・アートホール」を設立。79年長野県上田市に天竺画家のデッサンを展示する「信濃デッサン館」を、97年、同館隣接地に戦没画学生慰霊美術館「無言館」を設立。『父への手紙』(文庫春樹)、『明大前』物語(筑摩書房)、『信濃デッサン日記』I-IV(平凡社)、『無言館ノット』『石燈と鏡』(集英社)、『空白・日暮画家野田英夫の生涯』(新潮社)、『無言館』への旅、『父水上勉』、『自傳』を著す。『白水社』など著書多数。第46回サンケイ児童出版文化賞、第14回地方出版文化功労賞、第7回信毎賞、第13回NHK地域放送文化賞を受賞。2005年、「無言館」の活動を第53回菊池寛賞を受賞。15年、平和活動への貢献にあたる第1回「豊和」フェューチャリスト賞受賞。



主催: 碑の会 協力: 戦没画学生慰霊美術館「無言館」
後援: 岩内町 岩内町教育委員会 北海道新聞社

札幌からのツアーがあります。お問い合わせは、旅システム (011-742-2260) まで。